



新しい会議スタイル
～WEBツールを使って～

鈴木 彩恵 (札幌支部)

未だ終息の見えないコロナ禍の中、全ての事柄が去年と同じに出来ないもどかしい毎日が続いています。札幌支部女性委員会も、招集ままならず、5月から4回の委員会を、WEBにて開催しています。札幌支部では当初、会議ツールとしてskypeが推奨されていました。しかしこれはアカウントの作成が必要であるなど、普段、使い慣れている人以外には参加するまでにハードルが高いツールでしたので、女性委員会でテスト開催した時には、参加が2名でした。その後、委員長が個人的にZOOMで開催したところ参加者が8名まで増えました。徐々にWEB会議の回数が増えてきた頃でしたが、ZOOMはメールで送られてきたURLをポチッとすると入っていけるので、参加しやすいツールだと思いました。

『オン呑み』という言葉も流行りました。ご多分に漏れず私も友人とWEB飲み会を開催してみました。skypeやGoogle Meetなども使ってみました。グループラインでのビデオトークが、一番簡単でした。6人が参加できました。スマホの小さい画面が気になれば、パソコンにもDR出来るので、快適にストレスなく楽しめました。

WEB会議などに参加する事では少し困る事があります。周りが騒がしくない(なるべく個室のような)環境が必要な事です。会社に個室のない私は、その環境を作る為にあちこち奔走してしまったりします。どこかに向くより難しい事がありますが、もうしばらくはこのような会議が続きそうです。画面上だと雑談がないので会議への集中度は高くなるのですが、無駄話ができないのは寂しい限りです。

コロナ禍の1日も早い終息を心から願うばかりです。

コロナ禍でのTOTO勉強会

林 裕子 (函館支部)

令和2年当初、函館支部女性委員会で話し合った今年の活動について、『TOTOさんの協力をいただき勉強会を開きたい』と、意向は決まったものの、緊急事態宣言に外出自粛、あらゆる会社でテレワークを導入したりと、バタバタと月日が過ぎていき、9月某日、函館近郊の状況が落ち着いた頃合いを見計らって、ようやくTOTOさんの勉強会を実現することができました。

私事ではありますが、テレワークとは無縁の日々を送っており、この日が初めてのオンライン講習会でした。



オンラインで講習会に参加

(ちなみに、次回女性委員会では、「リモート委員会をやってみよう」と題して、女性委員のオンライン経験値アップを合わせて行う予定であり、新たな試みを楽しみたいと思っております。)

講師は浴室事業推進グループの齋藤知加子さんで、システムバスルームSYNLA(シンラ)についての開発秘話や、人間工学に基づいた設計、人体実験(入浴)、デザイン性、歴史…などなど、齋藤さんが実はTOTOカタログに載っている!なんてことを含め、たの

しく勉強させていただきました。

日々の癒やしである入浴の質が高まることは、暮らしの豊かさにもつながっており、暮らしを充実させることで、仕事にも精が出るというサイクルは素晴らしいですね。

その他、今年9月に新しくなったシステムキッチンTHE CRASSO(ザ・クラッソ)も見学しました。新しくなったポイントとして、換気ファンのお手入れが10年不要なスーパークリーンフードや、すべり台シンクなど、以前にも増して「美しい、使いやすい、きれい」を維持できる製品へと生まれ変わっていました。

シンラにもクラッソにも共通していることとして、普段のお手入れの手軽さがとても魅力的でした。ステイホームや新しい生活様式が推進され、生活環境の重要性が改めて注目される中、暮らしの質が高まる商品を実感することができたことを今後に活かしていきたいです。

その後、女性委員でケーキを食べながら講習会を振り返り、コロナ禍での仕事への影響など情報交換をしました。このような機会を設けていただき、TOTO函館ショールームおよび浴室事業推進グループのみなさまありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。



ありがとうございました!みんなでTOTO